



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL http://www.advanex.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)柴野 恒雄
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役常務最高財務責任者 (氏名)大野 俊也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,488	4.2	2	△97.9	93	△41.6	△43	—
30年3月期第2四半期	10,065	14.7	137	62.7	160	114.0	60	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 158百万円 (△52.8%) 30年3月期第2四半期 336百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△10.77	—
30年3月期第2四半期	14.71	14.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,476	6,269	29.1
30年3月期	20,315	6,233	30.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,244百万円 30年3月期 6,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	30.00	30.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	21,200	4.5	100	△61.5	180	△24.2	30	△39.8
								7.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	4,153,370株	30年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	58,700株	30年3月期	75,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	4,085,128株	30年3月期2Q	4,080,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、米国、欧州においては堅調な企業業績などにより景気拡大が持続しました。一方、中国では貿易摩擦の激化による悪影響が出始め、先行きの不透明感も高まっています。日本は、世界経済が概ね堅調なことなどを背景に回復基調となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比4.2%増の104億88百万円となり、営業利益は同97.9%減の2百万円となりました。経常利益は同41.6%減の93百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円(前年同四半期は60百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(日本)

自動車向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比5.3%増の40億55百万円となりましたが、材料費が高騰したことなどから、セグメント損失は1億7百万円(前年同四半期は63百万円の損失)となりました。

(米州)

医療向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比6.4%増の12億6百万円となりましたが、メキシコ工場の立ち上げコストが増加したこと、及び材料費が高騰したことなどから、セグメント損失は2億5百万円(前年同四半期は1億28百万円の損失)となりました。

(欧州)

自動車と航空機向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比16.5%増の10億21百万円となりましたが、チェコの新工場の開設準備費用等が発生したこと、及び材料費が高騰したことなどから、セグメント利益は同19.8%減の77百万円となりました。

(アジア)

米中貿易摩擦やインドネシアルピア安の影響はあったものの医療向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比微増の42億4百万円、セグメント利益は材料費高騰の影響がありましたが同4.2%増の2億46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億61百万円増加し、214億76百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が1億2百万円増加し122億92百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が4億41百万円減少しましたが、売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が1億42百万円増加し、たな卸資産が2億95百万円及びその他の流動資産が1億7百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は10億58百万円増加し、91億83百万円となりました。有形固定資産が11億33百万円増加したことによるものであります。

負債の部においては、負債合計額は152億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億24百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が4億13百万円、借入金が7億98百万円増加したことによるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が62億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて36百万円増加しました。主な理由は、配当金の支払等により株主資本合計が1億45百万円減少しましたが、円安により為替換算調整勘定が1億33百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億69百万円減少し、29億63百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が3億63百万円増加(前年同四半期は41百万円の資金減少)しました。

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益68百万円、減価償却費による資金留保4億92百万円によるものです。主な支出要因は、売上債権の増加3億97百万円やたな卸資産の増加2億64百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が16億19百万円減少(前年同四半期は4億85百万円の資金減少)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資15億27百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が6億68百万円増加(前年同四半期は5億59百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、有利子負債の増加7億93百万円であり、支出要因は、配当金の支払額1億22百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表しました通期連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,346,905	3,905,301
受取手形及び売掛金	4,826,490	4,969,253
商品及び製品	1,238,800	1,272,409
仕掛品	659,789	759,491
原材料及び貯蔵品	786,912	949,139
その他	345,347	452,487
貸倒引当金	△13,934	△15,195
流動資産合計	12,190,312	12,292,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,015,080	1,965,566
機械装置及び運搬具(純額)	3,125,728	3,541,749
土地	1,119,095	1,324,518
その他(純額)	750,214	1,311,297
有形固定資産合計	7,010,118	8,143,131
無形固定資産	225,129	189,254
投資その他の資産	889,848	851,161
固定資産合計	8,125,096	9,183,547
資産合計	20,315,408	21,476,434
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,574,829	2,988,039
短期借入金	2,624,429	2,461,001
1年内返済予定の長期借入金	2,109,704	2,269,260
未払法人税等	118,363	118,205
賞与引当金	229,306	226,485
製品保証引当金	75,908	75,750
その他	1,091,700	1,167,457
流動負債合計	8,824,241	9,306,200
固定負債		
長期借入金	3,436,123	4,238,945
繰延税金負債	226,503	250,071
環境対策引当金	3,000	—
退職給付に係る負債	1,435,779	1,367,023
資産除去債務	39,412	39,454
その他	116,904	5,190
固定負債合計	5,257,723	5,900,686
負債合計	14,081,965	15,206,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,717	256,717
利益剰余金	5,553,820	5,379,438
自己株式	△131,313	△102,361
株主資本合計	6,679,224	6,533,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,392	111,782
為替換算調整勘定	△387,176	△253,541
退職給付に係る調整累計額	△184,829	△147,891
その他の包括利益累計額合計	△492,613	△289,650
新株予約権	46,832	25,404
純資産合計	6,233,443	6,269,547
負債純資産合計	20,315,408	21,476,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,065,789	10,488,087
売上原価	7,714,022	8,053,051
売上総利益	2,351,766	2,435,035
販売費及び一般管理費	2,214,058	2,432,178
営業利益	137,708	2,857
営業外収益		
受取利息	13,782	10,489
受取配当金	4,431	2,104
受取賃貸料	26,226	26,503
為替差益	—	47,024
保険解約返戻金	—	35,430
その他	31,406	18,181
営業外収益合計	75,846	139,733
営業外費用		
支払利息	25,026	31,151
為替差損	15,628	—
その他	12,630	17,770
営業外費用合計	53,285	48,921
経常利益	160,269	93,669
特別利益		
固定資産売却益	7,086	4,214
特別利益合計	7,086	4,214
特別損失		
固定資産売却損	1,568	998
固定資産処分損	1,164	144
和解金	—	28,067
その他	—	4
特別損失合計	2,733	29,215
税金等調整前四半期純利益	164,623	68,669
法人税、住民税及び事業税	106,270	110,139
法人税等調整額	△1,673	2,511
法人税等合計	104,597	112,651
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,025	△43,982
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	60,025	△43,982

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,025	△43,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,345	32,389
為替換算調整勘定	234,146	133,635
退職給付に係る調整額	6,196	36,937
その他の包括利益合計	276,688	202,962
四半期包括利益	336,714	158,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,714	158,980

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	164,623	68,669
減価償却費	461,394	492,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△883	1,601
賞与引当金の増減額(△は減少)	77,321	△2,101
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,275	△26,434
受取利息及び受取配当金	△17,892	△12,593
支払利息	25,026	31,151
受取賃貸料	△26,226	△26,503
保険解約返戻金	△5,582	△35,430
為替差損益(△は益)	2,875	△31,797
固定資産売却損益(△は益)	△5,517	△3,216
固定資産処分損益(△は益)	1,164	144
売上債権の増減額(△は増加)	△277,458	△397,610
たな卸資産の増減額(△は増加)	△287,079	△264,440
仕入債務の増減額(△は減少)	52,591	671,470
その他	△98,730	△14,351
小計	85,901	451,061
利息及び配当金の受取額	20,767	12,368
利息の支払額	△27,536	△28,429
賃貸料の受取額	26,226	26,503
保険金の受取額	5,582	35,430
法人税等の支払額	△153,016	△133,881
その他	767	730
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41,307	363,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△712,925	△1,527,217
有形固定資産の売却による収入	12,635	16,484
無形固定資産の取得による支出	△1,723	△8,745
無形固定資産の売却による収入	2,411	4,438
投資有価証券の取得による支出	△8,584	△3,300
定期預金の預入による支出	△882	△353,128
定期預金の払戻による収入	206,127	254,000
その他	17,731	△2,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△485,211	△1,619,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	271,697	△122,921
長期借入れによる収入	1,550,000	2,256,027
長期借入金の返済による支出	△1,130,434	△1,339,231
自己株式の増減額(△は増加)	△4,785	△2,363
配当金の支払額	△126,003	△122,483
その他	△995	△828
財務活動によるキャッシュ・フロー	559,479	668,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	91,640	18,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,601	△569,392
現金及び現金同等物の期首残高	3,261,773	3,533,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,386,375	2,963,807

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,852,032	1,134,263	876,902	4,202,590	10,065,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	409,788	292	35,960	94,718	540,759
計	4,261,821	1,134,555	912,862	4,297,309	10,606,548
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△63,582	△128,808	96,467	236,822	140,899

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	140,899
セグメント間取引消去	△3,191
四半期連結損益計算書の営業利益	137,708

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,055,853	1,206,690	1,021,348	4,204,195	10,488,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	450,588	—	44,303	142,102	636,994
計	4,506,442	1,206,690	1,065,651	4,346,297	11,125,081
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△107,310	△205,796	77,390	246,781	11,063

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	11,063
セグメント間取引消去	△8,206
四半期連結損益計算書の営業利益	2,857

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。